

研究報告 2021-CH-125

※Windowsの方は[Ctrl]キーを, Macの方は[option]キーを押しながらリンク先をクリックしてください.

2月13日(土)

■セッション1 [11:10-12:00]

- (1) [言語情報の前方誤り訂正における歴史的アプローチ 人文科学の人類共有知への貢献](#)
得丸 久文
- (2) [万葉集伝本研究のためのデジタル基盤構築 廣瀬本『万葉集』の構造化とビューワの開発](#)
永崎 研宣, 乾 善彦, 菊池 信彦, 宮川 創, 小川 歩美, 堀井 洋, 吉賀 夏子

■セッション2 [13:20-14:40]

- (3) [ヒエラティックとヒエログリフの対応関係の再検討に基づくHieratische Paläographie DBの更新](#)
永井 正勝, 中村 覚, 和氣 愛仁, 高橋 洋成
- (4) [候文における文字単位の単語分散表現モデルに基づく固有表現抽出手法](#)
吉賀 夏子, 堀 良彰, 永崎 研宣
- (5) [歴史上の人物志に対する属性・属性値の推定](#)
本澤 拓, 森 信介, 関野 樹
- (6) [第125回人文科学とコンピュータ研究会発表会 テキストマイニングを用いた古典漢詩イメージと語義分析—中国・朝鮮『鸚鵡洲』詩歌』を対象として—](#)
林 玫君

■セッション3 [14:50-15:20]

- (7) [人文科学とコンピュータ研究会 30周年記念事業実施までの記録](#)
鹿内 菜穂

■企画セッション「文化解析を取り巻く最近の状況」 [11:10-12:00]

- (8) [計量的分析に基づく物語自動生成の現状と課題](#)
村井 源
- (9) [対応分析を巡る諸問題について](#)
矢野 環
- (10) [中世日本密教資料「聖教」のNgram解析——作者の特定と思潮の流れの把握手段として](#)
ラポー ガエタン